

台風22号・23号で被災された島民の皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。
不安な日々が続く中とは存じますが、皆さまの大切な暮らしが一日も早く落ち着きを取り戻し、再び島に笑顔が広がる日が訪れますよう、心よりお祈りしております。



しまではたらく人 vol.5
八丈島ではたらく
魅力的な人、お店を
ご紹介します。

しまのわ

第5号

企画・発行
NPO法人八丈島
移住定住促進協議会

トレーニングジム&スペース 「草野さん家」

八丈島の「人」にフォーカスした魅力を発信する広報誌「しまのわ」。今回の特集は、2020年に移住し、島内でフィットネスジムを運営する草野琢人さん。島内で昨年独立開業した奥様（ことみさん）のお二人にお話を伺いました。

草野さんは埼玉県の出身で、スポーツトレーナーの専門学校を卒業後、自衛隊空挺部隊で勤務。その後フリーのパーソナルトレーナーを経て八丈島に移住しました。草野さんが移住を決めたのは、先立つて島へ移り住んでいたご両親の存在と、八丈島の豊かな自然の中で「筋トレ」に励みたいという想いからでした。



清潔で広々とした
ジムスペース

ジム運営の傍らで、自身は「筋肉の自給自足」を目指し、ニワトリを飼育したり、素潜りでタコを獲つたりと、島暮らしを満喫しています。

一方、長崎県から移住したことみさんは、難関資格「土地家屋調査士」を取得し、昨年開業しました。不動産関係の仕事と並行して、女性専用のボディメイクサロンを運営しています。

そんなお二人の出会いは2023年。きっかけは、意外にも「猫」でした。お互いに猫を2匹飼っていたこと、家が近かつたことから意気投合し、出会ってから2年が経つた昨年7月に入籍されました。結婚してからは「喧嘩が減り、安心感が増した」と笑顔で話す草野夫妻。休日はドライブを楽しんだり、大好きな自宅の環境を整えたりと、仕事だけでなく、島でのプライベートな時間も大切にされています。



草野さん家（ジム）
公式サイト

Profile

しまではたらく人 vol.5

草野 琢人さん

○得意技
ポケモン

○最近のマイブーム
料理

○八丈の好きなスポット
自宅

HACHIGO INFORMATION

NEW!



歴史民俗資料館の向かい側



人気メニュー「ピーカンナッツチョコレートケーキ」と「ホットコーヒー」

NEWS 喫茶凧

看板メニューは、お店で丁寧に焼き上げる手作りスイーツ。特に、香ばしい「ピーカンナッツのチョコレートケーキ」や、「シュークリーム」は、完食せずに帰る人はいないといふのがいと言われるほど、早くも島上の人々の心を掴んでいます。主人もスイーツ作りを手伝う夫婦二人三脚でお店を盛り上げています。

立川さんは、「島の人たちが軽に立ち寄り、ホッとするお場所にしたい」と話します。やかな時間を提供しています。

大賀郷地区に、手作りスイーツが自慢の「喫茶凧（なぎ）」がオープンしました。店名の香りが漂う店内は、店主の立川明子さんがご主人と一緒に温めて作ります。木の温もりあふれるこだわりの空間です。

店舗情報

店名：喫茶凧

オープン日：2025年11月1日

営業時間：10:00-16:00

定休日：日曜日、月曜日

住所：東京都八丈島八丈町大賀郷110

喫茶凧
公式X八丈島移住定住促進協議会より
お知らせ

新年あけましておめでとうございます。私たちNPO法人八丈島移住定住促進協議会は、本年も八丈島の移住・定住促進と地域の未来づくりに、微力ながら力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年の台風22号・23号で被災された皆さんに、あらためて心よりお見舞い申し上げます。復旧は進んでいますが、住まいや仕事、生活環境の変化により、暮らし方・働き方を見直さざるを得ない方も少なくありません。今回の災害を通じ、人口減少や人手不足、若年層の流出といった課題が、これまで以上にくつくりと見えてきたと感じています。私たち移住協は専従職員を持たないボランティア団体で、限られた人手と時間の中で活動しています。取り組みには制約がありますが、「ここで歩みを止めれば坦い手不足が一層進んでしまう」という危機感のもと、できる範囲から一步ずつ進めています。

今後も、行政だけでは届きにくい領域に、民間ならではの柔軟さとネットワークを活かしながら、住まいの確保と空き家利活用の支援・移住者・島外人材の受け入れ体制づくり・地域産業との橋渡しと就労サポート・高校生・若年層の定着を見据えた取り組み（旗風寮の運営・留学生受入）など、島の未来を支える“土台づくり”に取り組んでまいります。

また台風後の対応から、行政・政治家との連携を生かし現場で動ける人、島民の声を行政へ届けられる存在の重要性も強く実感しました。私たちもその役割により積極的に関わり、現場と制度をつなぐ橋渡し役として機能を高めていきます。

災害は困難をもたらしましたが、「いま手を打たなければ人口減少はさらに深刻化する」という現実に向き合う転機にもなりました。移住・定住の推進を通じ、新しい担い手と可能性を生み出していくことを、私たちの使命として取り組んでまいります。

島民の皆さま、行政機関、事業者の皆さまと力を合わせ、「住み続けられる島」「選ばれ続ける島」を次の世代へつなげるため、今後も現場に寄り添いながら活動を続けてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ

- NPO法人八丈島移住定住促進協議会
- 電話番号：070-8310-7405
- 対応日時：平日9:00~18:00
- e-mail：8joiju@gmail.com
- 住所：東京都八丈島八丈町三根4906-3



移住協公式HP

